



▲2013年天皇賞(秋)(G1)

世界に挑んだ 優駿たち

— Vol.14 —

▼2014年ドバイ・デューティフリー(G1)



“世界”を制圧した豪脚 ジャスタウェイ

あのディーピンバクトやオルフェーヴルも成し得なかった快挙を達成した日本馬が1頭だけいる。その馬はジャスタウェイ。2004年に開始された国際クラシフィケーション「ワールドサラブレッドレースホースランキング」(現「ロンジンワールドベストレースホースランキング」)で1位、つまり“現役馬世界一”となったのである。

国内では有馬記念、海外ではドバイ・シーマクラシックを制したハーツクライを父として生を受けたジャスタウェイがデビューしたのは2011年の7月。新馬戦を快勝し、1番人気に推された新潟2歳Sで2着に入って早くから頭角を現し、3歳となった12年2月のアーリントンCで重賞初制覇を果たした。しかし続いて臨んだNHKマイルカップで6着、日本ダービーでは11着に敗れてしまった。

その後は、毎日王冠で2着に入ったほか、13年のエプソムC、関屋記念でも2着と、勝ち切れないレースが続いた。ところが、毎日王冠を2年連続で2着としたあとに出走した天皇賞(秋)で、まるで別の馬になったかのような快走を見せる。道中は10番手前後を進んで直線へ向くと、先に抜け出したジェンティルドンナを一気に差し切ったばかりか、さらにぐんぐんと差を広げ、ゴールではなんと4馬身(0秒7)もの差を付けてしまったのだ。

これで一躍トップホースの仲間入りを果たしたジャスタウェイの陣営は、翌14年の海外遠征プランを表明する。目指すはドバイ国際競走である。そのステップレースとして臨んだ中山記念を快勝すると予定通りに渡航し、ドバイ・デューティフリーに出走。彼はここで再び驚異的な走りを見せる。残り300m付近で馬群から抜け出すとともに後続を突き放し、2着に6馬身1/4もの差を付けて圧勝。走破タイムも従来の記録を2秒以上更新するレコードだった。このレースでのパフォーマンスが高く評価され、ジャスタウェイは日本馬として史上初の世界ランキング1位となったのである。

その後、安田記念でまた勲章の一つ積み上げた世界王者はその秋、凱旋門賞にも挑戦。ここでは直線で伸びあぐねて8着に敗れたが、帰国後にはジャパンカップで2着となってその力を改めて示し、有馬記念(4着)を最後に現役を引退した。

日本競馬の夢であった“世界一”を現実のものとしたジャスタウェイ。その子供たちのデビューは順調にいけば18年となる。その中から父仔三代海外G1制覇を達成する馬が現れるか、楽しみは先へと続いていく。

全成績		中央20戦5勝					海外2戦1勝
年月日	場	レース名	距離	着順	タイム	騎手	
2011. 7. 23	新潟	メイクデビュー新潟	1600	1	1:36.1	福永 祐一	
9. 4	新潟	新潟2歳S(GⅢ)	1600	2	1:33.9	福永 祐一	
11. 19	東京	東京スポーツ杯2歳S(GⅢ)	1800	4	1:53.5	後藤 浩輝	
2012. 2. 5	京都	きさらぎ賞(GⅢ)	1800	4	1:47.9	秋山真一郎	
2. 25	阪神	アーリントンC(GⅢ)	1600	1	1:36.3	福永 祐一	
5. 6	東京	NHKマイルカップ(G1)	1600	6	1:35.3	福永 祐一	
5. 27	東京	東京優駿(G1)	2400	11	2:24.8	秋山真一郎	
10. 7	東京	毎日王冠(GⅡ)	1800	2	1:45.0	柴田 善臣	
10. 28	東京	天皇賞(秋)(G1)	2000	6	1:57.8	内田 博幸	
2013. 1. 5	中山	日刊スポーツ賞中山金杯(GⅢ)	2000	3	1:59.9	内田 博幸	
2. 10	京都	京都記念(GⅡ)	2200	5	2:13.2	内田 博幸	
3. 9	中京	中日新聞杯(GⅢ)	2000	8	2:00.3	D.J.バルジュー	
6. 9	東京	エプソムC(GⅢ)	1800	2	1:45.7	福永 祐一	
8. 11	新潟	関屋記念(GⅢ)	1600	2	1:32.7	福永 祐一	
10. 6	東京	毎日王冠(GⅡ)	1800	2	1:46.8	柴田 善臣	
10. 27	東京	天皇賞(秋)(G1)	2000	1	1:57.5	福永 祐一	
2014. 3. 2	中山	中山記念(GⅡ)	1800	1	1:49.8	横山 典弘	
3. 29	ドバイ	ドバイ・デューティフリー(G1)	1800	1	R1:45.5	福永 祐一	
6. 8	東京	安田記念(G1)	1600	1	1:36.8	柴田 善臣	
10. 5	仏	凱旋門賞(G1)	2400	8	---	福永 祐一	
11. 30	東京	ジャパンカップ(G1)	2400	2	2:23.8	福永 祐一	
12. 28	中山	有馬記念(G1)	2500	4	2:35.5	福永 祐一	

※レース名は当時の表記による

ジャスタウェイ 牡 鹿毛 2009年3月8日生

調教師: 須貝尚介 馬主: 大和屋暁氏

父 ハーツクライ 2001 鹿	サンデーサイレンス	Halo
		Wishing Well
	アイリッシュダンス	トニービン
母 シビル 1999 鹿	Wild Again	ビューバーダンス
		Icecapade
	シャロン	Bushel-n-Peck
		Mo Exception
		Double Wiggle